

SINOPSIS

シバトラドラマの中で青年と両親の問題関係が反省する

序論

人間にとって、家族が生まれた時から青年になるまでに接近の親戚である。だから家族が子供の個性を影響する。家族の中で人間関係が良くなければ、子供と青年の個性も良くないである。この論文はシバトラというドラマからデータを取得した。このドラマの中で心理学の要素は青年と両親の関係からみられる。このドラマの中で青年が犯罪をすることが伝えられる。その対策は *delinquent* と呼ばれる。青年は両親と関係が良くないので、犯罪を起こす。

この論文は四つの理論を使っている。つまりレスタリからの「受け入れと拒絶理論」であり、ヒンデからの「親と子供の原則理論」であり、デフラインとスチネットからの「強い家族の特徴理論」であり、最後は、スラエマンからの「家族機能理論」である。

私は「受け入れと拒絶の理論」を使って、青年が両親から受け入れられること、または拒絶の経験のことを研究する。次は、「親と子供の原則の理論」を使って、両親と青年が良い家族メンバーとしているかどうかを研究する。次は、「強い家族の特徴の理論」を使って、ドラマの中で両親と青年の関係がどのようなものを研究する。最後は、「家族機能の理論」を使って、両親の義務はうまく果たされるのを研究する。

Delinquent の子は四つのタイプがある、孤立したの *delinquent*、
神経症の *delinquent*、精神病の *delinquent*、と道徳的欠陥の *delinquent* に
わけられる。このドラマで青年は神経症の *delinquent* のタイプである。
彼たちは中流階級からが、感情的緊張を経験する。

本論

ドラマの中で青年は両親と関係が良くないであり、五人の青年の
態度を研究する。

1. ドラマの中でミズキという性格がある。ミズキはお父さんと二人だけ
住んでいる。ミズキは父親から暴力を受けた。彼女は家から売春
の所へ逃げた。
2. そして、ユジという性格がある。ユジが問題を抱えた時、有罪ではな
いけど両親が信じらなかった。結果は、ユジが学校を脅迫した、
警察を脅かした。
3. 次はカトという性格がある。小学校から、両親に放棄された。カトは
野生の子になった。彼は ATM を強盗した、クラスメートの殺人計画
をした。
4. そして、ユリアという性格がある。両親の仕事は忙しいから、あまり
家にいなかった。ユリアは家の外で活動を探し、未成年が、
メイドカフェでメイドとして働いた。

5. そして、リカという性格がある。リカは母親と二人だけで住んでいる。

リカと彼女のお母さんの関係がよくないである。その結果^{けっか}はリカは家がきらく、麻薬流通事業^{まやくりゅうつうじぎょう}に陥^{おちい}りした。

結論

結論^{けつろん}はドラマ^{どらま}の中で両親^{りょうしん}と青年^{せいねん}の関係^{かんけい}が悪い^{わる}である。この悪い^{わる}関係^{かんけい}のせいで、青年^{せいねん}の個性^{こせい}が変^かわる。青年^{せいねん}の個性^{こせい}は変^かわるから、犯罪^{はんざい}をした。青年^{せいねん}の目標^{もくひょう}は心^{こころ}の中に隠^{かく}された感情^{かんじょう}を満^みたす。



DAFTAR ISI

HALAMAN JUDUL	i
HALAMAN PENGESAHAN	ii
HALAMAN PERNYATAAN ORISINALITAS	iii
PERNYATAAN PUBLIKASI SKRIPSI	iv
KATA PENGANTAR	v
DAFTAR ISI	viii
DAFTAR GAMBAR	x
DAFTAR TABEL	xi
BAB I PENDAHULUAN	1
1.1 Latar Belakang Masalah.....	1
1.2 Rumusan Masalah	4
1.3 Tujuan	4
1.4 Metode dan Pendekatan	5
1.5 Organisasi Penulisan	6
BAB II KAJIAN TEORI	8
2.1 Psikologi Keluarga	8
2.1.1 Fungsi Keluarga	10
2.1.2 Prinsip Relasi Orang Tua dan Anak	11
2.1.3 Karakteristik Keluarga yang Kukuh	12
2.2 Konflik Dalam Keluarga	13
2.3 Kenakalan Remaja.....	15

BAB III PERMASALAHAN REMAJA DAN ORANG TUA YANG	
 TERCERMIN DALAM DRAMA “SHIBATORA”	20
3.1 Hosho Mizuki	20
3.1.1 Sinopsis	20
3.1.2 Hubungan Mizuki dengan Orang Tua	21
3.1.3 Dampak Terhadap Karakter Mizuki	27
3.2 Kusunoki Yuji	29
3.2.1 Sinopsis	29
3.2.2 Hubungan Yuji dengan Orang Tua	30
3.2.3 Dampak Terhadap Karakter Yuji	34
3.3 Gakuto Kato	36
3.3.1 Sinopsis	36
3.3.2 Hubungan Kato dengan Orang Tua	37
3.3.3 Dampak Terhadap Karakter Kato	42
3.4 Yuria	43
3.4.1 Sinopsis	43
3.4.2 Hubungan Yuria dengan Orang Tua	45
3.4.3 Dampak Terhadap Karakter Yuria	50
3.5 Machida Rika	51
3.5.1 Sinopsis	51
3.5.2 Hubungan Rika dengan Orang Tua	53
3.5.3 Dampak Terhadap Karakter Rika	57
BAB IV KESIMPULAN	59
DAFTAR PUSTAKA	61
SINOPSIS.....	xii
RIWAYAT HIDUP PENULIS	xiii

DAFTAR GAMBAR

Gambar 3.1 Luka yang Dialami Mizuki	22
Gambar 3.2 Pakaian Ibunya dan Rambut Palsa untuk Mizuki	22
Gambar 3.3 Kondisi Rumah Kato	40
Gambar 3.4 Keadaan Kato Ketika Ditelantarkan	40
Gambar 3.5 Teman Sekelas Kato yang Terjebak di Ruang Tertutup	43
Gambar 3.6 Uang Hasil dari Merampok ATM	43
Gambar 3.7 Yuria Bekerja Sebagai <i>Maid</i> di <i>Maid Café</i>	46



DAFTAR TABEL

Hosho Mizuki

Tabel 3.1 Prinsip Relasi Orang Tua dan Anak23

Tabel 3.2 Karakteristik Keluarga yang Kukuh.....25

Tabel 3.3 Fungsi Keluarga26

Kusunoki Yuji

Tabel 3.4 Prinsip Relasi Orang Tua dan Anak31

Tabel 3.5 Karakteristik Keluarga yang Kukuh32

Tabel 3.6 Fungsi Keluarga33

Gakuto Kato

Tabel 3.7 Prinsip Relasi Orang Tua dan Anak39

Tabel 3.8 Karakteristik Keluarga yang Kukuh41

Tabel 3.9 Fungsi Keluarga41

Yuria

Tabel 3.10 Prinsip Relasi Orang Tua dan Anak47

Tabel 3.11 Karakteristik Keluarga yang Kukuh48

Tabel 3.12 Fungsi Keluarga49

Machida Rika

Tabel 3.13 Prinsip Relasi Orang Tua dan Anak55

Tabel 3.14 Karakteristik Keluarga yang Kukuh.....55

Tabel 3.15 Fungsi Keluarga56